

元気いっぱい都城をPR

平成27年度の都城観光レディが決定し、4月14日に市長を表敬訪問しました。今年度は柳田美波さん（太郎坊町）、荒川内優奈さん（太郎坊町）、櫻木彩さん（曾於市）の3人が就任。3人は今後1年間、祭りやイベントなどに出演して、本市の魅力を広くPRしていきます。柳田さんは「多くの人に、明るく元気に都城の魅力を伝えたい」、荒川内さんは「肉や焼酎など、都城のおいしい特産物をPRしたい」、櫻木さんは「我慢強い性格を生かしてがんばります。都城のことをたくさん学びたい」と抱負を語りました。



都城観光レディ就任のあいさつ

伝統的工芸品への興味沸く

本場大島紬手織り体験が4月18日、市内の工房で開催されました。国の伝統的工芸品に興味を持ってもらおうと、都城絹織物事業協同組合が開催し、市内外から9人が参加。参加者らは、織り機の扱い方や糸の通し方などの説明を受け、それぞれ好きな色糸で紬を織っていました。山崎順子さん（高崎町大牟田）は「初めは思った通りに織ることができず、手間取ったが、回数を重ねていくうちに織れるようになった。機会があったらまたチャレンジして、思い通りの柄を織ってみたい」と、伝統的工芸品への興味を深めていました。



本場大島紬手織り体験

楽しみながら科学を学ぶ

物づくりを通して子どもたちの想像力を育成する物づくり体験教室が4月19日、カンガエールプラザで開催されました。市内などから小学生30人が参加。LEDを点滅させる電気回路の作成では、ハンダ付けなどに悪戦苦闘しながらも根気良く組み上げ、明かりがつくと声を上げて喜んでいました。



物づくり体験



荘内町合併50周年

半世紀の歴史を振り返る

旧荘内町と都城市の合併50周年を記念し、庄内地区まちづくり協議会と西岳地区まちづくり協議会が共同で4月4日、祝賀会を開催しました。地元住民ら約410人が参加。庄内に伝わる南洲太鼓や、菓子野町の小学生ら13人が千草奴踊を披露し、式典に花を添えていました。

満開のあやめを堪能

祝吉地区まちづくり協議会が主催する早水あやめまつりが4月29日、早水公園多目的広場で開催されました。約42万本のあやめが咲き誇る中、多くの家族連れらが来場。ステージでは地元の小中学生による演奏や、アヤメ音頭総踊りなどが披露され、来場者らは祭りを楽しんでいました。



早水あやめまつり